

定 例 教 育 委 員 会 次 第

令和5年12月20日（水曜日）
14時00分～

1 開 会

2 前回議事録の承認

3 議事（公開）

付議第36号議案

令和6年度佐賀県立特別支援学校幼稚部、高等部及び専攻科の募集定員について
(特別支援教育室)

4 事務局報告（公開）

(1) 令和6年度全国高等学校総合体育大会（SAGA インターハイ）の準備状況について
(総体2024推進グループ)

(2) 決算特別委員会（令和4年度決算）における主な質問事項について
(教育総務課)

(3) 令和5年度教育行政職員採用試験の結果について
(教職員課)

(4) 令和6年度佐賀県立学校理療科教諭等、寄宿舎指導員及び実習助手採用選考試験の結果について
(教職員課)

(5) 令和6年度佐賀公立学校教員採用選考試験（秋選考）の結果について
(教職員課)

(6) 令和5年度の佐賀県高等学校総合文化祭の結果について
(学校教育課)

(7) 第103回全国高等学校ラグビーフットボール大会について
(保健体育課)

(8) 次回定例教育委員会について

令和6年1月31日(水)10時00分～

(教育総務課)

5 議事(非公開)

付議第37号議案

佐賀県いじめ問題対策委員会への諮問について

(生徒支援室)

付議第38号議案

佐賀県いじめ問題対策委員会委員の任命について

(生徒支援室)

6 事務局報告(非公開)

(1) 県立学校におけるいじめの重大事態の発生について

(生徒支援室)

定例教育委員会議事録（案）

- 1 期 日 令和5年11月20日（月曜日）
2 場 所 教育委員会室
3 参集者 甲斐教育長、飯盛（清）委員、飯盛（裕）委員、荒木委員、井上副教育長、嘉村副教育長、大橋危機管理・広報総括監、松尾総体2024総括監、内田教育総務課長、近藤特別支援教育室長、船津指導主事、岡教職員課長、池田生徒支援室長、江口保健体育課長 ほか

4 会議次第 別紙のとおり

5 会議の経過

(1) 開 会 13時15分

(2) 前回議事録の承認

このことについて、甲斐教育長は会議に諮り、委員会は承認した。

(3) 議事

【付第29号議案】

佐賀県立特別支援学校の就学区域に関する規則の一部改正（案）について

このことについて、議案書により近藤特別支援教育室長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(近藤特別支援教育室長)

資料29-2をご覧ください。現行の規則において、神埼市の就学区域については知的障害が大和特別支援学校、肢体不自由については金立特別支援学校と定められているが、改正の理由に記載しているとおり、県中部地区と県東部地区の特別支援学校の児童生徒数の平準化を図るため、神埼市について特別支援学校の就学区域を見直しを行い、知的障害及び肢体不自由ともに中原特別支援学校へ変更をするものであり、令和6年4月1日から施行予定である。

具体的な改正内容については、資料29-3をご覧ください。改正前は金立特別支援学校の肢体不自由における神埼市、大和特別支援学校の知的障害における神埼市が、改正後は中原特別支援学校の知的障害・肢体不自由の欄にそれぞれ変更となる。なお、経過措置にあるとおり、この規則による改正後の佐賀県立特別支援学校の就学区域に関する規則の規定は、令和6年4月1日以降に特別支援学校に入学する者から適用し、同日前に入学した者については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例によるとしており、大和及び金立特別支援学校に通学している児童・生徒については、教育の継続性の観点から本人及び保護者の希望を尊重し、現在の学校にそのまま通学ことも可能としている。審議をお願いしたい。

【主な質問等】

(飯盛(清)委員)

この変更に伴う質問ではないが、現時点で入学する際にこの枠以外の学校に通学したいという相談は毎年どれくらい上がってくるのか。

(船津指導主事)

大体1～2名程度である。

(飯盛(清)委員)

それは、できるだけ保護者の意向に沿うような形で認めているのか。

(近藤特別支援教育室長)

そうである。

【付第30号議案】

令和6年度県立学校教職員人事異動方針について

このことについて、議案書により岡教職員課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(岡教職員課長)

資料30-2をご覧ください。今年度、各学校がそれぞれ教育目標の達成を目指して積極的な学校運営ができるように人事異動方針を立てている。具体的には、異動方針の最初に目的として書いているように、県立学校がそれぞれの特色を最大限に活かし、地域と連携して、唯一無二の誇り高い学校の実現を目指すために人事異動を行うということとしている。

なお、今年度の変更点は、役職定年制の導入に伴い、新しい職として特任指導教諭及び特任寄宿舎指導員を置いた。今年度は、この異動方針に則って、県立学校教職員の人事異動を行いたいと考えている。以上、ご審議をお願いしたい。

【主な質問等】

(飯盛(清)委員)

資料30-3の特任指導教諭の後半部分に「なお希望による降任を行う」と記載があるが、特任指導教諭を遠慮したいという場合か。その場合は、最後の1年は教諭になるのか。

(岡教職員課長)

本人の意向に沿うことになる。最後の1年は教諭になる。

【付第31号議案】

令和6年度市町立小中義務教育学校教職員人事異動方針について

このことについて、議案書により岡教職員課長が次のとおり説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(岡教職員課長)

資料 31-2 をご覧いただきたい。人事異動方針の基本的なところについては、付第 30 号議案で説明した県立学校と同じである。学校運営の強化と市町教員個々の職能の成長を促進するための方針を立てている。異動方針の前文に書いているように、市町立学校がそれぞれの地域の特色を活かし、地域と連携して唯一無二の魅力ある学校の実現を目指すため人事異動を行うこととしている。今年度の変更点は、県立学校と同様に、役職定年制の導入に伴い、新しい職として特任指導教諭を置いたことである。今年度は、この異動方針に則り、市町立小・中・義務教育学校教職員人事異動を行いたいと考えている。以上、ご審議をお願いしたい。

(4) 事務局報告

- ① 内田教育総務課長は、令和 4 年度佐賀県教育委員会事務マネジメント評価報告書について、資料に基づき次のとおり報告した。

(内田教育総務課長)

資料 1-1 をご覧いただきたい。令和 3 年度から教育委員会において事務の管理及び執行が法令に適合し、かつ適正に行われているということを確認するために、知事部局の取組を参考に財務に関する事務に係る事務マネジメント体制の整備を行っている。

取組の概要については、財務事務で想定されるリスクと対応策が記載された「評価シート」を用いて実施をしている。具体的には、評価シートを確認し、日常業務を遂行すること、リスクが発現した場合にリスクの原因、改善策、是正状況等を記載して提出すること、そういったことが適切であるか質的重要性、量的重要性を評価するものである。今回会計検査において、重大な指摘があったため、重大な不備としている。

資料 1-3 をご覧いただきたい。1 点目は、義務教育費国庫負担金の過大交付についてである。こちらは小学校の教職員にかかる基礎定数の算定が過大となったため、交付金が過大に交付されたものである。是正措置としては、事務取扱要領に沿った事務処理を行うよう周知徹底をすること、市町教育委員会、教育事務所、教育委員会で児童生徒数の変動について確実に共有することにより再発防止に努めていくこととしている。

2 点目は、公立学校情報機器整備費補助金の交付が過大であったというものである。これは、1 人 1 台学習用端末導入にあたり端末のリース契約経費を国がリース業者に補助するものであるが、仕入税額控除した消費税額にかかる国庫補助金相当額を、国へ報告し返還すべきところ、リース業者にその認識がなく、国へ報告及び返還がしていなかったものである。是正措置としては、県とリース事業者との事務手続きに係る連絡調整、確認の徹底、県及びリース事業者で手続き等について細部にわたり確認を行うことで再発防止に努めていくこととしている。

今後も教育委員会事務局の各所属に対し、財務事務の進捗状況を可視化するなど進捗管理をより適切に行っていく。

【主な質問等】

(飯盛(清)委員)

一つ目の不備について、平成30年度の事業で誤りが見つかったということであるが、その年に限って算定誤りがあったのか、その年の前後についても同様の算定をしている心配はないのか。

(岡教職員課長)

その年の前後の年度も確認したところ、誤りはなかった。

- ② 岡教職員課長は、令和6年度佐賀県公立学校教員採用選考試験(秋選考)について、資料に基づき次のとおり報告した。

(岡教職員課長)

資料2-1をご覧ください。令和6年度佐賀県公立学校教員採用選考試験(秋選考)については9月25日から10月20日までを申込期間とし、期間終了後、資格等の審査を行い、63人の受験申込を受け付けた。内訳は一般選考に55人、さがUJIターン現職特別選考に8人の申込であった、その結果、小学校教諭等では、採用予定者20人に対し、倍率は2.8倍となった。

今年度の特徴は、小学校教諭等の申込者数については、夏の1.2倍と比べると増加をしている。昨年度の秋選考と比べると減少しているが、採用数20人に対し、55人の申込があったということは一定の手応えがあったと感じている。また、さがUJIターン現職特別選考にも8人の申込があり、秋選考でもさがUJIターン現職特別選考を実施したことの効果を感じている。

11月18・19日に筆記試験・面接を実施した。受験されたのは53人であった。最終合格発表は12月8日を予定している。

【主な質問等】

(荒木委員)

現住所が佐賀県にある人が18人ということだが、残りはどんなところがあるか。

(岡教職員課長)

他府県からの申込があっている。現住所が佐賀になっている方であっても、現在は他府県にいる方もいる。

(飯盛(裕)委員)

受験者の年齢層はどうだったか。

(岡教職員課長)

新卒者も50代の方もいる。

(飯盛(清)委員)

夏の採用試験が不合格で、秋再挑戦の方も含まれているのか。

(岡教職員課長)

含まれている。

- ③ 江口保健体育課長は、令和5年特別国民体育大会（燃ゆる感動かごしま国体）の結果について、資料に基づき次のとおり報告した。

（江口保健体育課長）

資料3-1をご覧ください。特別国民体育大会（燃ゆる感動かごしま国体）について、少年の部（高校生）の入賞者については、昨年の16競技から18競技に増えている。10月7日から10月17日まで11日間開催された国体において、佐賀県チームは、天皇杯が昨年度21位から10位、入賞競技数27競技から31競技と躍進している。来年度のSAGA2024が非常に期待される。

- ④ 江口保健体育課長は、令和5年度（男子60回・女子36回）佐賀県中学校駅伝競技大会（結果）について、資料に基づき次のとおり報告した。

（江口保健体育課長）

資料4-1をご覧ください。中学校の県内駅伝大会について11月10日に白石町のふくどみマイランド公園で行われた。男子の部優勝は多久市立東原産舎中央校（6年ぶり3回目）、2位伊万里市立啓成中学校、3位唐津東中学校であった。女子の部優勝は多久市立東原産舎中央校（2年ぶり3回目）、2位伊万里市立啓成中学校、3位武雄市立武雄中学校であった。男女ともに1位多久市立東原産舎中央校、2位伊万里市立啓成中学校となっている。男女優勝校は12月17日に滋賀県で開催予定の全国大会に出場する。

【主な質問等】

（飯盛（清）委員）

男女とも1位多久市立東原産舎中央校、2位伊万里市立啓成中学校ということだが、部活動か地域のスポーツクラブで指導しているのか。

（江口保健体育課長）

多久市立東原産舎中央校については、専門の先生がいる。伊万里市立啓成中学校は地域の指導者から指導を受けている

- ⑤ 江口保健体育課長は、令和5年度（男子76回・女子37回）佐賀県高等学校駅伝競走大会（結果）について、資料に基づき次のとおり報告した。

（江口保健体育課長）

資料5-1をご覧ください。高等学校の県内駅伝競走大会について、10月29日に、佐賀市立スポーツパーク多目的広場北道路コースをスタート・ゴールとし、九州国際空港を周回するコースで行われた。男子の部優勝は鳥栖工業高校、2位白石高校、3位唐津東高校であった。女子の部優勝は佐賀清和高校、2位白石高校、3位伊万里高校であった。この大会の男女優勝校は、12月24日に京都府で開催予定の全国大会に出場する。

- ⑥ 江口保健体育課長は、第 103 回全国高等学校ラグビーフットボール大会佐賀県大会（結果）について、資料に基づき次のとおり報告した。

（江口保健体育課長）

資料 6-1 をご覧いただきたい。第 103 回全国高等学校ラグビーフットボール大会佐賀県大会の決勝が 10 月 28 日（土）に開催され、佐賀工業が早稲田佐賀に対し、106 対 0 で 42 年連続 52 回目の優勝をした。全国大会は、12 月 27 日から東大阪市の花園ラグビー場で開催される。

【主な質問等】

（飯盛（清）委員）

ラグビー決勝の点差が 100 点ほどとなっているが、早稲田佐賀が力を付けてきたのか。

（江口保健体育課長）

前半戦は競った試合が展開されたが、後半に早稲田佐賀に退場者が出てしまい、そこから点数が開いた。

（飯盛（裕）委員）

準決勝で敗退した鳥栖工業・佐賀西高の合同チームは日ごろどのように練習しているのか。

（江口保健体育課長）

日ごろは別々で練習し、土日などは一緒に練習をしている。

（荒木委員）

佐賀工業が強いが、選手は県外からも来ているのか。佐賀工業でラグビーをすすめるために県外から来るのか。強い選手を集めるためにスカウトもされているのか。

（江口保健体育課長）

全国からも来ている。監督の繋がり、昔からの付き合いなどもある。

- ⑦ 内田教育総務課長は、次回定例教育委員会について、次のとおり報告した。

（内田教育総務課長）

次回定例教育委員会は、12 月 20 日（水曜日）14 時 00 分から開催する予定としている。委員の出席をお願いしたい。

（5）議事

教育長は非公開を宣言した。

【付第 32 号議案】

県議会に提出する教育関係議案に対する意見について

このことについて、議案書により内田教育総務課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第 33 号議案】

令和 5 年度県立学校教職員（管理職）異動について

このことについて、議案書により岡教職員課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第 34 号議案】

教職員の人事について

このことについて、議案書により岡教職員課長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

【付第 35 号議案】

佐賀県いじめ問題対策委員会委員の任命について

このことについて、議案書により池田生徒支援室長が説明し、委員会は協議の結果、議案のとおり決定した。

(6) 閉 会 14 時 27 分

令和5年12月定例教育委員会資料

(令和5年12月20日)

議 事 【公 開】

佐賀県教育委員会

付第36号議案

令和6年度佐賀県立特別支援学校幼稚部、高等部及び専攻科の募集定員について

このことについて、別紙のとおり制定する。

令和6年度佐賀県立特別支援学校幼稚部、高等部及び専攻科の募集定員

| 学 校 | 部・科 | 学 科 等 | | 募集定員 | |
|---|-----|--|--|--------------------------|-----|
| 盲学校 (視覚障害) | 幼稚部 | 3歳・4歳・5歳 | | 若干人 | |
| | 高等部 | <普通科> 通常の学級 1学級 重複障害学級 1学級 | | 定員 8人 定員 3人 | 19人 |
| | | <保健医療科> 通常の学級 1学級 | | 定員 8人 | |
| | 専攻科 | <療養科> 通常の学級 1学級 | | 定員 8人 | 8人 |
| ろう学校 (聴覚障害) | 幼稚部 | 3歳・4歳・5歳 | | 若干人 | |
| | 高等部 | <産業工芸科> 通常の学級 1学級 | | 定員 8人 | 16人 |
| <被服科> 通常の学級 1学級 | | 定員 8人 | | | |
| 金立 特別支援学校 (肢体不自由) | 高等部 | <普通科> 通常の学級 1学級 重複障害学級 3学級 訪問教育学級 1学級 | | 定員 8人 定員 9人 定員 3人 | 20人 |
| 大和 特別支援学校 (知的障害) | 高等部 | <普通科> 通常の学級 8学級 重複障害学級 1学級 訪問教育学級 1学級 | | 定員 64人 定員 3人 定員 3人 | 70人 |
| 中原 特別支援学校 (知的障害) (肢体不自由) (病弱) | 高等部 | 知的障害 | <普通科> 通常の学級 5学級 重複障害学級 2学級 訪問教育学級 1学級 | 定員 40人 定員 6人 定員 3人 | 88人 |
| | | 肢体不自由 | <普通科> 通常の学級 1学級 重複障害学級 1学級 訪問教育学級 1学級 | 定員 8人 定員 3人 定員 3人 | |
| | | 病弱 | <普通科> 通常の学級 2学級 重複障害学級 2学級 訪問教育学級 1学級 | 定員 16人 定員 6人 定員 3人 | |
| 伊万里 特別支援学校 (知的障害) (肢体不自由) | 高等部 | 知的障害 | <普通科> 通常の学級 3学級 重複障害学級 1学級 訪問教育学級 1学級 | 定員 24人 定員 3人 定員 3人 | 44人 |
| | | 肢体不自由 | <普通科> 通常の学級 1学級 重複障害学級 1学級 訪問教育学級 1学級 | 定員 8人 定員 3人 定員 3人 | |
| 唐津 特別支援学校 (知的障害) (肢体不自由) | 高等部 | 知的障害 | <普通科> 通常の学級 4学級 重複障害学級 1学級 訪問教育学級 1学級 | 定員 32人 定員 3人 定員 3人 | 52人 |
| | | 肢体不自由 | <普通科> 通常の学級 1学級 重複障害学級 1学級 訪問教育学級 1学級 | 定員 8人 定員 3人 定員 3人 | |
| うれしの 特別支援学校 (知的障害) (肢体不自由) | 高等部 | 知的障害 | <普通科> 通常の学級 4学級 重複障害学級 1学級 訪問教育学級 1学級 | 定員 32人 定員 3人 定員 3人 | 52人 |
| | | 肢体不自由 | <普通科> 通常の学級 1学級 重複障害学級 1学級 訪問教育学級 1学級 | 定員 8人 定員 3人 定員 3人 | |

| 合計 | 部・科 | 学級数 | 募集定員 |
|----|-----|------|------|
| | 幼稚部 | | 若干人 |
| | 高等部 | 62学級 | 361人 |
| | 専攻科 | 1学級 | 8人 |

佐賀県教育委員会説明資料

特別支援教育室

令和6年度 佐賀県立特別支援学校高等部募集定員及び志願見込者数

| | 学科 | 学級の種別 | 1学級定員 | 令和6年度 | | | 令和5年度 | | | 備考 (R5年度とR6年度の比較) | | |
|--------------|-------|--------|--------|-------|------|--------|-------|------|--------|----------------------|-------|-------|
| | | | | 募集学級数 | 募集定員 | 志願見込者数 | 募集学級数 | 募集定員 | 志願見込者数 | | | |
| 盲学校 | 普通科 | 通常の学級 | 8人 | 1学級 | 8人 | 0人 | 1学級 | 8人 | 1人 | | | |
| | | 重複障害学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 1学級 | 3人 | 1人 | | | |
| | 保健医療科 | 通常の学級 | 8人 | 1学級 | 8人 | 0人 | 1学級 | 8人 | 1人 | | | |
| | 計 | | | 3学級 | 19人 | 0人 | 3学級 | 19人 | 3人 | ※増減なし | | |
| ろう学校 | 産業工芸科 | 通常の学級 | 8人 | 1学級 | 8人 | 0人 | 1学級 | 8人 | 2人 | | | |
| | 被服科 | 通常の学級 | 8人 | 1学級 | 8人 | 2人 | 1学級 | 8人 | 2人 | | | |
| | 計 | | | 2学級 | 16人 | 2人 | 2学級 | 16人 | 4人 | ※増減なし | | |
| 金立 特別支援学校 | 普通科 | 通常の学級 | 8人 | 1学級 | 8人 | 3人 | 1学級 | 8人 | 0人 | | | |
| | | 重複障害学級 | 3人 | 3学級 | 9人 | 5人 | 4学級 | 12人 | 9人 | 1学級の減 | 3人の減 | |
| | | 訪問教育学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 2学級 | 6人 | 2人 | 1学級の減 | 3人の減 | |
| | 計 | | | 5学級 | 20人 | 8人 | 7学級 | 26人 | 11人 | 2学級の減 | 6人の減 | |
| 大和 特別支援学校 | 普通科 | 通常の学級 | 8人 | 8学級 | 64人 | 55人 | 8学級 | 64人 | 60人 | | | |
| | | 重複障害学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 2学級 | 6人 | 2人 | 1学級の減 | 3人の減 | |
| | | 訪問教育学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 1学級 | 3人 | 0人 | | | |
| | 計 | | | 10学級 | 70人 | 55人 | 11学級 | 73人 | 62人 | 1学級の減 | 3人の減 | |
| 中原 特別支援学校 | 普通科 | 知的障害 | 通常の学級 | 8人 | 5学級 | 40人 | 37人 | 5学級 | 40人 | 36人 | | |
| | | | 重複障害学級 | 3人 | 2学級 | 6人 | 4人 | 1学級 | 3人 | 1人 | 1学級の増 | 3人の増 |
| | | | 訪問教育学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 1学級 | 3人 | 0人 | | |
| | | 小計 | | | 8学級 | 49人 | 41人 | 7学級 | 46人 | 37人 | 1学級の増 | 3人の増 |
| | 肢体不自由 | 通常の学級 | 8人 | 1学級 | 8人 | 0人 | 1学級 | 8人 | 0人 | | | |
| | | 重複障害学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 2学級 | 6人 | 2人 | 1学級の減 | 3人の減 | |
| | | 訪問教育学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 1学級 | 3人 | 0人 | | | |
| | | 小計 | | | 3学級 | 14人 | 0人 | 4学級 | 17人 | 2人 | 1学級の減 | 3人の減 |
| | 病弱 | 通常の学級 | 8人 | 2学級 | 16人 | 9人 | 3学級 | 24人 | 16人 | 1学級の減 | 8人の減 | |
| | | 重複障害学級 | 3人 | 2学級 | 6人 | 2人 | 5学級 | 15人 | 11人 | 3学級の減 | 9人の減 | |
| | | 訪問教育学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 1人 | 1学級 | 3人 | 1人 | | | |
| | | 小計 | | | 5学級 | 25人 | 12人 | 9学級 | 42人 | 28人 | 4学級の減 | 17人の減 |
| | 計 | | | 16学級 | 88人 | 53人 | 20学級 | 105人 | 67人 | 4学級の減 | 17人の減 | |

| 学校名 | 学科 | 学級の種別 | 1学級定員 | 令和6年度 | | | 令和5年度 | | | 備考 (R5年度とR6年度の比較) | | |
|----------------|--------------|--------|--------|-------|------|--------|-------|------|--------|----------------------|-------|-------|
| | | | | 募集学級数 | 募集定員 | 志願見込者数 | 募集学級数 | 募集定員 | 志願見込者数 | | | |
| 伊万里 特別支援学校 | 普通科 | 知的障害 | 通常の学級 | 8人 | 3学級 | 24人 | 17人 | 4学級 | 32人 | 24人 | 1学級の減 | 8人の減 |
| | | | 重複障害学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 1人 | 1学級 | 3人 | 1人 | | |
| | | | 訪問教育学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 1学級 | 3人 | 0人 | | |
| | | 小計 | | 5学級 | 30人 | 18人 | 6学級 | 38人 | 25人 | 1学級の減 | 8人の減 | |
| | 肢体不自由 | 通常の学級 | 8人 | 1学級 | 8人 | 0人 | 1学級 | 8人 | 0人 | | | |
| | | 重複障害学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 2学級 | 6人 | 2人 | 1学級の減 | 3人の減 | |
| | | 訪問教育学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 1学級 | 3人 | 0人 | | | |
| | 小計 | | 3学級 | 14人 | 0人 | 4学級 | 17人 | 2人 | 1学級の減 | 3人の減 | | |
| | 計 | | 8学級 | 44人 | 18人 | 10学級 | 55人 | 27人 | 2学級の減 | 11人の減 | | |
| | 唐津 特別支援学校 | 普通科 | 知的障害 | 通常の学級 | 8人 | 4学級 | 32人 | 26人 | 3学級 | 24人 | 18人 | 1学級の増 |
| 重複障害学級 | | | | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 1学級 | 3人 | 1人 | | |
| 訪問教育学級 | | | | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 1学級 | 3人 | 0人 | | |
| 小計 | | | | 6学級 | 38人 | 26人 | 5学級 | 30人 | 19人 | 1学級の増 | 8人の増 | |
| 肢体不自由 | | 通常の学級 | 8人 | 1学級 | 8人 | 1人 | 1学級 | 8人 | 0人 | | | |
| | | 重複障害学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 1人 | 3学級 | 9人 | 5人 | 2学級の減 | 6人の減 | |
| | | 訪問教育学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 1学級 | 3人 | 0人 | | | |
| 小計 | | | 3学級 | 14人 | 2人 | 5学級 | 20人 | 5人 | 2学級の減 | 6人の減 | | |
| 計 | | | 9学級 | 52人 | 28人 | 10学級 | 50人 | 24人 | 1学級の減 | 2人の増 | | |
| うれしの 特別支援学校 | | 普通科 | 知的障害 | 通常の学級 | 8人 | 4学級 | 32人 | 26人 | 5学級 | 40人 | 32人 | 1学級の減 |
| | 重複障害学級 | | | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 1学級 | 3人 | 0人 | | |
| | 訪問教育学級 | | | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 1学級 | 3人 | 0人 | | |
| | 小計 | | | 6学級 | 38人 | 26人 | 7学級 | 46人 | 32人 | 1学級の減 | 8人の減 | |
| | 肢体不自由 | 通常の学級 | 8人 | 1学級 | 8人 | 0人 | 1学級 | 8人 | 0人 | | | |
| | | 重複障害学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 1人 | 1学級 | 3人 | 1人 | | | |
| | | 訪問教育学級 | 3人 | 1学級 | 3人 | 0人 | 1学級 | 3人 | 0人 | | | |
| | 小計 | | 3学級 | 14人 | 1人 | 3学級 | 14人 | 1人 | 0学級の減 | 0人の減 | | |
| | 計 | | 9学級 | 52人 | 27人 | 10学級 | 60人 | 33人 | 1学級の減 | 8人の減 | | |
| | 合計 | | | 62学級 | 361人 | 191人 | 73学級 | 404人 | 231人 | 11学級の減 | 43人の減 | |

令和6年度 佐賀県立盲学校専攻科募集定員及び志願見込者数

| 学校名 | 科 | 学科 | 1学級定員 | 募集学級数 | 募集定員 | 志願見込者数 | 募集学級数 | 募集定員 | 志願見込者数 | 備考 |
|-----|-----|-----|-------|-------|------|--------|-------|------|--------|----|
| 盲学校 | 専攻科 | 理療科 | 8人 | 1学級 | 8人 | 1人 | 1学級 | 8人 | 1人 | |

令和6年度 佐賀県立盲学校・ろう学校幼稚部募集定員及び志願見込者数

| 学校名 | 部 | 募集定員 | 1学級定員 | 志願者見込数 | 備考(令和5年度) |
|------|-----|----------|-------|--------|-----------|
| 盲学校 | 幼稚部 | 3歳・4歳・5歳 | 若干人 | 0人 | 0人 |
| ろう学校 | 幼稚部 | 3歳・4歳・5歳 | 若干人 | 0人 | 2人 |

令和5年12月定例教育委員会資料

(令和5年12月20日)

報告事項

【公開】

佐賀県教育委員会

令和6年度全国高等学校総合体育大会（SAGAインターハイ）の
準備状況について

1 開催準備状況について

(1) 広報

① 広報物によるPR

- ・県庁舎に懸垂幕を設置（R5.7～）
- ・各競技会場に横断幕等を設置（R5.7～）
- ・九州佐賀国際空港の待合ロビー等でPR動画を放映（R5.9～） など

② ポスター、チラシ等によるPR

- ・SAGAインターハイポスター及びチラシを作成（R5.8）
- ・競技別ポスター図案を募集、選考（R6.1.24に表彰式を予定）

など



懸垂幕



横断幕（SAGA アクア）



SAGAインターハイ
ポスター

(2) 高校生活動（令和5年9月以降分）

- ・インスタグラムでの情報発信（R5.9.14～）
- ・北部九州4県合同300日前イベントに参加（R5.10.9）
- ・県内イベントでのPR（吉野ヶ里ふるさと炎まつり等）（R5.10～）
- ・SAGAインターハイ特別イベント
～COUNTDOWN200～を実施（R5.12.23 予定）

など



300 日前イベント



吉野ヶ里ふるさと炎まつり



佐賀インターナショナル
バルーンフェスタ

- (3) 競技開催
- ・ 競技種目別大会実施要項（案）の策定
 - ・ 競技種目別大会の役員及び補助員の編成（2次編成中） ※
 - ・ 全国高等学校体育連盟競技専門部の会場地視察への対応 など
- (4) 宿泊・衛生、交通・防災
- ・ 食品衛生対策実施要領、宿舍衛生対策実施要領、飲料水衛生対策実施要領、医療救護実施要領の策定
 - ・ 宿泊料金等に関する全国高等学校体育連盟への要望活動(R5.9.11)
 - ・ 配宿センター（JTBがR5.10.1に設置）との配宿調整
 - ・ 警備対策要項、防災・危機管理対策要項の策定（予定） など
- (5) SAGA2024との連携
- ・ 合同での学校訪問の実施（R5.4～）
 - ・ SAGAインターハイ開催競技と同じ競技を国スポで運営する市町（佐賀市・嬉野市）と運営計画を共有・調整
 - ・ 宿舍等への講習会等を合同で実施することを予定



学校訪問

- ※ 競技種目別大会の役員及び補助員の2次編成状況について
- ・ 県内の高等学校職員及び生徒に役員・補助員を依頼
 - ・ 運営役員・運営補助員の派遣については、競技会場近隣の高等学校をサポート校に設定
 - ・ 競技役員・競技補助員の派遣については、県内全域の当該競技種目部活動顧問・生徒に依頼
 - ・ 開催競技種目の専門性を持つ義務制学校、特別支援学校の学校職員にも競技役員を依頼
 - ・ 一部の競技種目については、県外へ競技役員・競技補助員を要請

決算特別委員会（令和4年度決算）の主な質問事項

会期：令和5年11月6日(月) ～ 11月17日(金) <12日間>

【教育委員会関係】

(文教厚生関係)

- 1 SAGA唯一無二の学校魅力化実践事業について
- 2 鳥栖特別支援学校について
- 3 県立夜間中学「彩志学舎中学校」について
- 4 不登校対策総合推進事業について

令和5年度教育行政職員採用試験の結果について

佐賀県人事委員会が11月15日及び11月27日に行った佐賀県職員採用試験の最終合格者発表のうち、教育行政（高校卒業程度及び民間企業等職務経験者）の結果については、下記のとおりです。

記

| 高校卒業程度 | 令和5年度 | (参考) | |
|---------------|-------|-------|-------|
| | | 令和4年度 | 令和3年度 |
| 採用予定者数 | 1 | 2 | 2 |
| 申込者数 | 10 | 24 | 21 |
| 第1次試験受験者数 (A) | 10 | 21 | 20 |
| 第1次試験合格者数 | 4 | 7 | 5 |
| 第2次試験受験者数 | 4 | 7 | 5 |
| 最終合格者数 (B) | 1 | 2 | 2 |
| 倍率 (A/B) | 10.0 | 10.5 | 10.0 |

| 民間企業等職務経験者 (社会人経験者) | 令和5年度 | (参考) | |
|------------------------|-------|-------|-------|
| | | 令和4年度 | 令和3年度 |
| 採用予定者数 | 3 | 3 | 3 |
| 申込者数 | 64 | 58 | 48 |
| 第1次試験受験者数 (A) | 64 | 58 | 48 |
| 第1次試験合格者数 | 13 | 12 | 13 |
| 第2次試験受験者数 | 12 | 12 | 13 |
| 最終合格者数 (B) | 3 | 3 | 3 |
| 倍率 (A/B) | 21.3 | 19.3 | 16.0 |

令和6年度佐賀県立学校理療科教諭等、寄宿舍指導員及び実習助手 採用選考試験の結果について

1 試験の実施状況

- (1) 期 日 令和5年11月4日(土)
- (2) 会 場 教育センター
- (3) 内 容 **【理療科教諭等】** 小論文試験、面接試験
【寄宿舍指導員・実習助手】 一般・教職教養試験、専門試験、
小論文試験、面接試験

2 合格者発表

- (1) 日 時 令和5年12月8日(金) 9:00
- (2) 方 法 本人に合否を通知するとともに、県庁掲示板と県のHPにも
合格者の受験番号を掲載しています。

3 合格者数等

(1) 理療科教諭等

| | 合格者数 | 申込者数 | 欠席者数 | 受験者数 |
|--------|------|------|------|------|
| 理療科教諭等 | 2 | 2 | 0 | 2 |

(2) 寄宿舍指導員・実習助手

| | 合格者数 | 申込者数 | 欠席者数 | 受験者数 | |
|--------|------|------|------|------|---|
| 寄宿舍指導員 | 5 | 23 | 0 | 23 | |
| 実習助手 | 理科家庭 | 1 | 9 | 9 | |
| | 農業 | 3 | 10 | 9 | |
| | 工業 | 機械 | 3 | 6 | 6 |
| | | 建設系 | 3 | 3 | 3 |
| 計 | 15 | 51 | 1 | 50 | |

令和6年度佐賀県公立学校教員採用選考試験（秋選考）の結果についてお知らせします

12月8日に合格者発表を行った標記選考試験の結果について、下記のとおり、その概要をお知らせします。

なお、合格者の受験番号については、県庁掲示板に掲示するとともに、県のホームページにも掲載しています。

記

1 試験区分別合格者数

小学校教諭等 合格者数 25人

中学校教諭等 合格者数 2人（国語1、英語1）

※合格者数は「さがUJIターン現職特別選考」の合格者を含んでいます。

2 受験状況について

（単位：人）

| 選考区分 | 受験者数 | 合格者数 |
|-------------------------------|--------|--------|
| 一般選考 秋選考（小学校教諭等） | 46（87） | 20（28） |
| さがUJIターン現職特別選考 秋選考（小学校教諭等） | 5（-） | 5（-） |
| さがUJIターン現職特別選考 秋選考（中学校教諭等） | 2（-） | 2（-） |

※（ ）内は前年度の受験者数、合格者数

※ さがUJIターン現職特別選考（秋選考）は、今年度より実施

3 その他

- 秋選考合格者のうち既卒者は22人、来年卒業予定の新卒者は5人で、新卒者が全体の18.5%を占めている。
- 秋選考合格者の平均年齢は、38.0歳であった。
- 秋選考合格者のうち、現住所が佐賀県内であるものは、9人であり、18人は、県外在住者であった。
- 最終倍率（試験受験者数／合格者数）は、2.0倍（小学校教諭等）で、夏に実施した採用選考試験も含めると1.2倍となった。

【参考】令和6年度佐賀県公立学校教員採用選考試験申込者数及び一次・二次試験受験者数等

(単位：人)

| | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援学校 | 養護教諭 | 栄養教諭 | 合計 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|------------|-----------|--------------|
| 申込者数 | 213 (262) | 178 (194) | 213 (235) | 62 (75) | 81 (79) | — (12) | 747 (857) |
| 一次試験 受験者数 | 202 (238) | 158 (176) | 199 (214) | 55 (73) | 78 (69) | — (11) | 692 (781) |
| 二次試験 受験者数 | 189 (208) | 117 (124) | 79 (76) | 48 (44) | 15 (18) | — (3) | 448 (473) |

※ () 内は、令和5年度（前年度）の申込者数、一次試験受験者数、二次試験受験者数

令和5年12月定例教育委員会

事務局報告事項 学校教育課

令和5年度の佐賀県高等学校総合文化祭の結果について

令和5年度 佐賀県高等学校総合文化祭 各専門成績・結果報告

| 専門部名 | | | | | |
|--------------------|--|--|--------------|---------------|-------|
| 連合音楽会(音楽) | 審査なし | | | | |
| 連合音楽会(吹奏楽) | 審査なし | | | | |
| 美術・工芸展 | 絵画の部 | 特選 16点 | 準特選 25点 | 佳作29点 | |
| | 映像の部 | 特選 該当なし | 準特選 該当なし | 佳作 1点 | |
| | 立体・彫刻・工芸の部 | 特選 7点 | 準特選 10点 | 佳作 12点 | |
| | デザインの部 | 特選 22点 | 準特選 35点 | 佳作 38点 | |
| 書道展 | 特選 35点、奨励賞 45点、秀作 111点、入選29点 | | | | |
| 演劇コンクール | 最優秀賞/鳥栖商業高校 優秀賞/佐賀東高校 3位/佐賀西高校 | | | | |
| 放送コンテスト | ラジオ番組部門 | 最優秀賞/神埼清明 | 優秀賞2点、優良賞2点 | | |
| | テレビ番組部門 | 最優秀賞/神埼清明 | 優秀賞2点、優良賞2点 | | |
| | アナウンス部門 | 最優秀賞/武雄高校2年 前田 満生 | 優秀賞2点、優良賞5点 | | |
| | 朗読部門 | 最優秀賞/佐賀清和2年 眞崎 希 | 優秀賞2点、優良賞5点 | | |
| | 総合 | 1位 佐賀清和高校、 2位 武雄高校 | | | |
| 弁論大会 | 1位 東明館高校2年 牛島 瑞香 2位 東明館高校2年 牛島 有菜 3位 東明館高校2年 三宅 彩心 | | | | |
| 新聞コンクール | 最優秀賞/有田工業高校定時制 優秀賞/弘学館高校、佐賀工業高校 優良賞/白石高校商業科キャンパス、白石高校普通科キャンパス、嬉野高校塩田校舎工業科キャンパス | | | | |
| 文芸コンクール | 文芸部誌 | 一席/有田工業高校 | | | |
| | 散文 | 一席/敬徳高校2年 太田 結菜 | | | |
| | 詩 | 一席/鳥栖高校2年 東 和奏 | | | |
| | 短歌 | 一席/佐賀清和高校2年 後藤 俐希 | | | |
| | 俳句 | 一席/佐賀清和高校2年 小寺 杏弥 | | | |
| 写真展 | 特選3点 | 佐賀学園高校3年 貞包 理乃 佐賀北高通信 4年 平 愛実 武雄高校1年 山北 京佳 | | | |
| 将棋新人大会 | 男子優勝 | 佐賀星生学園2年 小野 竜聖 | 女子優勝 | 佐賀西高校2年 早川 郁子 | |
| | 男子2位 | 佐賀清和高校1年 西村 晃汰 | 女子2位 | 佐賀西高校1年 山口 悠希 | |
| | 男子3位 | 早稲田佐賀高校2年 柳生 太郎 | 女子3位 | 佐賀西高校2年 永嶋 淑弓 | |
| 自然科学研究発表会 | 最優秀賞/致遠館高校 優秀賞(3作品)/佐賀西高校、鳥栖高校、致遠館高校 | | | | |
| 伝統芸能合同発表会 | 郷土芸能、日本音楽 審査なし | | | | |
| 吟詠剣詩舞合同発表会 | 審査なし | | | | |
| 囲碁選手権大会 | | 男子 | | 女子 | 参加者なし |
| | 19路盤 個人戦 | 優勝 | 鹿島高校2年 青柳 旺介 | 優勝 | |
| | | 準優勝 | 該当なし | 準優勝 | |
| | | 3位 | 該当なし | 3位 | |
| | 9路盤 個人戦 | 優勝 | 鹿島高校1年 森岡 大和 | 優勝 | |
| | | 準優勝 | 武雄高校2年 神田 陽向 | 準優勝 | |
| | | 3位 | 武雄高校1年 馬場 雄大 | 3位 | |
| 団体戦 | 優勝 | 武雄高校 | 準優勝 | 鹿島高校 | |
| 小倉百人一首かるた 選手権大会 | 優勝 /唐津東高校2年 舩田 惺哉 準優勝/佐賀北高校1年 原田 都妃 3位/鳥栖高校2年 土屋 咲兎 | | | | |

